

## 反射テスト 絶対値 場合分けによる計算 01

1. 実数の範囲で次の式を計算せよ. 答えは必要とあれば場合分けの形で示せ.

( S 級 1 分 10 秒, A 級 2 分, B 級 3 分, C 級 4 分 )

(1)  $|x + 3| - 3$

(2)  $|x| + |x + 2|$

2. 実数の範囲で次の式を計算せよ. 答えは必要とあれば場合分けの形で示せ.

( S 級 1 分 10 秒, A 級 2 分, B 級 3 分, C 級 4 分 )

(1)  $|1 - x| - 1$

(2)  $|2 - x| + |2 + x|$

# 反射テスト 絶対値 場合分けによる計算 01 解答解説

1. 実数の範囲で次の式を計算せよ. 答えは必要とあれば場合分けの形で示せ.

(S級1分10秒, A級2分, B級3分, C級4分)

## ★絶対値の入る式の計算

次のように場合分けして考える. ②は①と③に含んで計算する方が簡便.

- ① 絶対値の中が正のときは, そのまま.
- ② 絶対値の中が0のときは, 0.
- ③ 絶対値の中が負のときは,  $(-1)$  をかける!

$$|A| \begin{cases} \text{① } A > 0 \text{ のとき, } & |A| = A \\ \text{② } A = 0 \text{ のとき, } & |A| = 0 \\ \text{③ } A < 0 \text{ のとき, } & |A| = -A \end{cases}$$

(1)  $|x+3|-3$

$x+3 \geq 0$  のとき,  
 $(x+3 \geq 0 \Leftrightarrow x \geq -3)$   
 与式 =  $|x+3|-3 = x+3-3 = x$

$x+3 \leq 0$  のとき,  
 $(x+3 \leq 0 \Leftrightarrow x \leq -3)$   
 与式 =  $|x+3|-3 = -(x+3)-3 = -x-6$

答え  $\begin{cases} x & (x \geq -3 \text{ のとき}) \\ -x-6 & (x \leq -3 \text{ のとき}) \end{cases}$

☆別解1  $\begin{cases} x & (x > -3 \text{ のとき}) \\ -3 & (x = -3 \text{ のとき}) \\ -x-6 & (x < -3 \text{ のとき}) \end{cases}$

☆別解2  $\begin{cases} x & (x > -3 \text{ のとき}) \\ -x-6 & (x \leq -3 \text{ のとき}) \end{cases}$

☆別解3  $\begin{cases} x & (x \geq -3 \text{ のとき}) \\ -x-6 & (x < -3 \text{ のとき}) \end{cases}$

### ☆ポイント

どれも解答として妥当である. センター試験では別解2か3の形式が多いが, 非常に厳格に考えれば最初の答えと別解1が最適と私は思う. しかし場合分けという観点からいうと2と3も妥当. 記述式ではどの形式で書くが決めておいた方がよい.

(2)  $|x|+|x+2|$

$|x| \Rightarrow x \geq 0$  又は  $x \leq 0$  に場合分け  
 $|x+2| \Rightarrow x+2 \geq 0$  又は  $x+2 \leq 0$  に場合分け  
 $\Leftrightarrow x \geq -2$  又は  $x \leq -2$  に場合分け

以上の場合分けより, 次の3つに場合分けして考える.

$$\begin{cases} \text{① } x \leq -2 \text{ のとき} \\ \text{② } -2 \leq x \leq 0 \text{ のとき} \\ \text{③ } 0 \leq x \text{ のとき} \end{cases}$$

- ①  $x \leq -2$  のとき,  
 $|x|+|x+2| = -x-(x+2) = -2x-2$
- ②  $-2 \leq x \leq 0$  のとき,  
 $|x|+|x+2| = -x+(x+2) = 2$
- ③  $0 \leq x$  のとき,  
 $|x|+|x+2| = x+(x+2) = 2x+2$

答え  $\begin{cases} -2x-2 & (x \leq -2 \text{ のとき}) \\ 2 & (-2 \leq x \leq 0 \text{ のとき}) \\ 2x+2 & (0 \leq x \text{ のとき}) \end{cases}$

### ☆ポイント1

絶対値が2つある式では3つに場合分けをする.  
 絶対値が3つある式では4つに場合分けをする.  
 .....

絶対値が  $n$  個ある式では  $(n+1)$  通りに場合分けをする.

### ☆ポイント2

実際に数字を入れると,  $| \quad |$  の中身に  $(-1)$  を掛けるか掛けないのか判断しやすい.

上の問題の②を例にとってみよう.  $-2 \leq x < 0$  という条件であるから, この条件を満たす  $x = -1$  を代入してみると,  
 $|x|+|x+2| = |-1|+|-1+2| = |-1|+|1|$   
 よって, 最初の  $| \quad |$  にだけ  $(-1)$  を掛ければよいことがわかる.

2. 実数の範囲で次の式を計算せよ. 答えは必要とあれば場合分けの形で示せ.

(S級1分10秒, A級2分, B級3分, C級4分)

(1)  $|1-x|-1$

$1-x \geq 0$  のとき,

$$(1-x \geq 0 \Rightarrow x \leq 1)$$

$$|1-x|-1 = 1-x-1 = -x$$

$1-x \leq 0$  のとき,

$$(1-x \leq 0 \Rightarrow x \geq 1)$$

$$|1-x|-1 = -(1-x)-1 = x-2$$

$$\text{答え} \begin{cases} -x & (x \leq 1 \text{ のとき}) \\ x-2 & (x \geq 1 \text{ のとき}) \end{cases}$$

$$\text{☆別解 1} \begin{cases} -x & (x < 1 \text{ のとき}) \\ x-2 & (x \geq 1 \text{ のとき}) \end{cases}$$

$$\text{☆別解 2} \begin{cases} -x & (x < 1 \text{ のとき}) \\ -1 & (x = 1 \text{ のとき}) \\ x-2 & (x > 1 \text{ のとき}) \end{cases}$$

(2)  $|2-x|+|2+x|$

$|2-x| \Rightarrow 2-x \geq 0$  又は  $2-x \leq 0$  に場合分け

$\Leftrightarrow x \leq 2$  又は  $x \geq 2$  に場合分け

$|2+x| \Rightarrow 2+x \geq 0$  又は  $2+x \leq 0$  に場合分け

$\Leftrightarrow x \geq -2$  又は  $x \leq -2$  に場合分け

以上の場合分けより, 次の3つに場合分けして考える.

$$\begin{cases} \textcircled{1} & x \leq -2 \text{ のとき} \\ \textcircled{2} & -2 \leq x \leq 2 \text{ のとき} \\ \textcircled{3} & 2 \leq x \text{ のとき} \end{cases}$$

①  $x \leq -2$  のとき,

$$|2-x|+|2+x| = (2-x) - (x+2) = -2x$$

②  $-2 \leq x \leq 2$  のとき,

$$|2-x|+|2+x| = (2-x) + (x+2) = 4$$

③  $2 \leq x$  のとき,

$$|2-x|+|2+x| = -(2-x) + (x+2) = 2x$$

$$\text{答え} \begin{cases} -2x & (x \leq -2 \text{ のとき}) \\ 4 & (-2 \leq x \leq 2 \text{ のとき}) \\ 2x & (2 \leq x \text{ のとき}) \end{cases}$$

$$\text{☆別解 1} \begin{cases} -2x & (x \leq -2 \text{ のとき}) \\ 4 & (-2 < x \leq 2 \text{ のとき}) \\ 2x & (2 < x \text{ のとき}) \end{cases}$$

$$\text{☆別解 2} \begin{cases} -2x & (x \leq -2 \text{ のとき}) \\ 4 & (-2 < x < 2 \text{ のとき}) \\ 2x & (2 \leq x \text{ のとき}) \end{cases}$$